

研究機関名：旭川医科大学

作成年月日：2026年6月1日（第1版）

承認番号	26038
課題名	救命救急センター看護師における口腔ケア・吸引実践の変化 -標準化に向けた業務改善の取り組み前後の評価と患者関連指標の探索的検討-
研究期間	西暦 2026 年 7 月 3 日（実施許可日） ～ 2027 年 3 月 31 日
研究の対象	2026 年 1 月から 2027 年 2 月の期間中に救命救急センターに入院された方
利用する試料・情報の種類	☒ 診療情報（詳細：年齢、性別、診断名と治療、意識レベル、口腔内評価、口腔ケア実施時間、水分および食事摂取開始、早期離床の程度等） ☐ 手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名： ） ☐ 血液 ☐ その他（ ）
利用予定日	開始日：実施許可日から 1 ヶ月後
試料・情報の管理について責任を有する者	旭川医科大学 学長 西川 祐司
研究の意義、目的	本研究の目的は、救命救急センターにおいて実施される口腔ケア・吸引の標準化に向けた取り組みの前後で、看護師の口腔ケア・吸引実践の変化を評価するとともに、患者さんの口腔内状態や誤嚥性肺炎などの患者関連指標との関連を探索的に検討することです。 救命救急センターでは、意識障害や人工呼吸器管理を要する患者さんが多く、口腔内環境の悪化や分泌物の貯留により、誤嚥や肺炎を生じるリスクが高いことが知られています。そのため、患者さんの口腔内状態を適切に評価し、その状態に応じた口腔ケアや吸引を実施することが重要です。 当センターでは、口腔ケアおよび吸引の標準化に向けた業務改善に取り組めます。本研究では、その取り組みの前後における看護師の実践状況を評価するとともに、診療録に記載されている患者さんの口腔内状態や誤嚥性肺炎の発生状況等の情報を用いて、その影響を探索的に検討します。 本研究の成果は、救命救急センターにおける口腔ケアおよび吸引の質の向上や標準化の推進に役立ち、患者さんにより安全で適切なケアを提供するための基礎資料となることが期待されます。
研究の方法	口腔内の評価をした患者さんのカルテから、年齢、性別、診断名、治療内容、意識レベル、口腔内評価、口腔ケアの実施状況、水分・食事摂取開始時期、離床状況、誤嚥性肺炎の発生状況等の情報を診療録から収集します。これらの情報を用いて、口腔ケアおよび吸引の標準化に向けた取り組みの前後における患者関連指標の変化を検討します。また、データは個人が識別できないよう、研究用の番号を付与した照合表を作成し救命救急センターでパスワードを付与

	し管理します。
その他	
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先まで2027年2月までにお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 研究責任者：旭川医科大学医学部看護学講座教授 救命救急センター兼務 山根 由起子 研究分担者：旭川医科大学病院・救命救急センター 師長 眞鍋 万里子 連絡先：：0166-69-3715 内線 3715（救命救急センター）